

平成十六年六月十一日提出  
質問第一六四号

年金の政府答弁に関する質問主意書

提出者  
長妻昭

## 年金の政府答弁に関する質問主意書

今国会では、年金等について政府から以下のような趣旨の答弁があった。

- ・厚生労働省の随意契約は無くす。
- ・国民年金の仕事（広告等）に厚生年金の掛け金を使うことに関して、見直す必要がある。
- ・年金ムダ遣いに関して、第三者機関で退職金の支払の是非も含めて、問題を検証する。
- ・年金ムダ遣いを検証する会のスタートは今国会中に行う。
- ・年金ムダ遣いを検証する会には、一般の皆さんも参加してもらおう。
- ・天下りは見直す。参議院選までに何らかのものをまとめたい。
- ・天下りは原則禁止という方向。六月ぐらいまでに案をまとめる。

この答弁それぞれに関して、以下お尋ねする。

- 一 それぞれの発言の年月日・発言場所・発言者・発言詳細内容（複数の場所で同趣旨の内容を発言している場合は、そのすべて）をお示し願いたい。

- 二 それぞれの発言について以下お尋ねする。

- ① 具体的な進捗状況
  - ② 確定した具体的な内容
  - ③ 実行期限の年月日
  - ④ 今後つめる具体的内容
  - ⑤ 答弁はしたが、実際には実行が出来ない部分はあるか。
- 三 国会答弁は政府の公約、守らなければならない国民への約束と考えて宜しいのか。
- 四 先にあげた政府答弁の実行がなされない場合、どのような責任が発生するか。
- 右質問する。